

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○環境保全活動団体の育成と連携・支援
主な取組	赤土等流出防止活動促進事業		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・海洋ごみや外来種対策など、地域が抱える環境問題に対し、市町村等との地域連携・協働により問題解決を促すコーディネーターとなる団体・組織等の育成と連携・支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
赤土等流出防止に向けた地域住民の主体的な取組を推進するため、地域団体やNPO等の活動を支援する。	県	赤土等流出防止活動への支援			
		赤土等流出防止活動への支援団体数(累計)			
		7団体	7団体(14団体)	7団体(21団体)	
担当部課【連絡先】	環境部環境保全課		【 098-866-2236 】	関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	赤土等流出防止総合対策事業			予算事業名	赤土等流出防止総合対策事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	補助	180,510	163,373	一括交付金 (ソフト)	補助	168,212	
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画			
赤土等流出防止に取り組む団体の活動に対し補助金を交付した。				赤土等流出防止に取り組む団体の活動に対し補助金を交付する。			
活動指標名	赤土等流出防止活動への支援団体数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		4団体	4団体	3団体	7団体 (21団体)	42.9%	大幅遅れ

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
赤土等流出防止対策に取り組む3団体の活動に対して補助金を交付した。公募を3回行ったが、申請団体が少なく目標を達成できなかったため、大幅遅れとした。補助金の交付により地域と協働したグリーンベルトの植栽活動等の流出防止対策、赤土等流出対策の啓発活動及び地域の赤土等流出に資する調査が行われ、当該地域における流出防止対策が図られた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○赤土等流出防止活動に取り組む新たな団体を増やすため、活動に取り組む団体の活動内容の紹介とともに、活動に対する補助金の周知も併せて行う。	○赤土等流出防止活動に取り組む新たな団体を増やすため、非営利活動法人についての情報収集を行い、電話連絡にて当事業の案内を行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	赤土等流出防止のためには、地域における団体等による普及啓発活動や赤土等流出防止対策活動が重要であり、取組団体を増やす必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	赤土等流出防止対策に係るこれまでの団体等の活動実績や、補助金事業に係る情報を県HPに掲載し、広く周知を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○環境保全活動団体の育成と連携・支援
主な取組	環境保全啓発事業（出前講座等による環境保全活動の促進）		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・海洋ごみや外来種対策など、地域が抱える環境問題に対し、市町村等との地域連携・協働により問題解決を促すコーディネーターとなる団体・組織等の育成と連携・支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」において、県民の環境保全意識の向上を図るための環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を実施する。	県	沖縄県地域環境センターによる環境保全普及啓発活動の実施		
		出前講座等の活動回数(累計)		
		65回	67回(132回)	70回(202回)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	https://kankyo-center.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費				予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	16,227	18,116	県単等	委託	18,436	
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画			
沖縄県地域環境センターによる環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を企画・実施した。				沖縄県地域環境センターによる環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を企画・実施する。			
活動指標名	出前講座等の活動回数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	122回	81回	97回	70回 (202回)	100.0%	順調	沖縄県地域環境センターにおいて、県内全域を対象に学校や地域等での出前講座や自然観察会、啓発イベント等の環境保全啓発活動を年間を通して実施した。また、センターのHPやセンター情報誌で環境情報を発信した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄県地域環境センターにおいて出前講座や自然観察会、啓発イベント等の各種啓発活動を目標値以上の97回開催し、環境学習・体験活動の機会を提供した。また、HPや情報誌等で環境教育プログラムの活用例の紹介、体験活動・体験イベント参加の呼びかけ、こどもエコクラブの活動の紹介をするなど、環境情報を発信したことから順調と判定した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
<p>○対象者のニーズや満足度等を把握するため、アンケート調査等を行うことで、各種啓発活動の向上につなげる。 ○リモートやオンラインでの啓発活動を継続して行うとともに、対象者のニーズに合わせた啓発活動を展開する。</p>	<p>・対象者からの希望に応じて出前講座を開催した。また、地域環境センターホームページやX、Facebook、Instagramで情報を発信した。 ・効果的な啓発活動とするため、環境教育プログラム集を活用した講座のほか、学校機関等の要望を事前に取り入れた上で、目的に沿った出前講座を開催した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	地域に根差した啓発活動を展開するためには、沖縄県地域環境センターを中核に据えた事業を継続して実施する必要がある。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	啓発活動の多様化 (リモートやオンライン開催等) や社会情勢を踏まえて事業展開を継続して行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	対象者のニーズや満足度等を把握するため、アンケート調査等を行うことで、各種啓発活動の向上につなげる。
⑥ 変化に対応した取組の改善	リモートやオンラインによる啓発活動の体制を継続するとともに、対象者のニーズや社会情勢を踏まえて啓発活動を展開する。

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○環境保全活動団体の育成と連携・支援
主な取組	県民参加型外来種防除の実施		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・海洋ごみや外来種対策など、地域が抱える環境問題に対し、市町村等との地域連携・協働により問題解決を促すコーディネーターとなる団体・組織等の育成と連携・支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
県民の外来種対策への参画を促進するため、県民参加型の外来種防除イベント等を開催する。	県	ツルヒヨドリ等外来種防除イベントの実施			
		外来種防除イベントの実施回数(累計)			
		3回	3回(6回)	3回(9回)	
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課		【 098-866-2243 】	関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	外来種対策事業			予算事業名	外来種対策事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	434,037	424,608	一括交付金 (ソフト)	委託	498,853
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
<p>やんばる地域において、外来植物駆除イベントを開催した。 また、グリーンアノール防除イベントを5回開催した。</p>				<p>外来植物駆除イベントを開催する。 また、グリーンアノール防除イベントを2回開催する。</p>		

活動指標名	外来種防除イベントの実施回数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	3回	3回	6回	3回(9回)	100.0%	順調	外来植物防除イベント1回に36名、グリーンアノール防除イベント5回に153名の参加があった。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標値3回に対して実績値6回であり、目標を達成したことから取組は順調に進捗している。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
より多くの参加者を集めるため、多様なイベントの開催や効果的なイベント情報の発信方法の検討等を行っていく。	より多くの参加者を集めるため、地元行政や地域、関係機関へ周知を図った。効果的な発信方法については、YouTubeチャンネルに外来種問題や外来種捕獲方法の動画を展開するとともに、事業で構築したウェブサイトを用いた。



3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	多くの県民が本県の豊かな生物多様性を認識し、外来種と在来種の区別や外来種対策の必要性について理解を深め、県民一丸となった取組につなげていくため、県民参加型の取組を充実させる必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	防除イベントにおいて外来種と在来種の特徴等に関する教育を実施するとともに、防除の表彰制度を取り入れ、より効果的な実施を図るなど、多様なイベントの開催や効果的な情報発信を行っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○ボランティア活動のマッチング
主な取組	環境保全啓発事業（環境ボランティアマッチングの促進）		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・地域課題に対するニーズとボランティアとのマッチングを行う環境ボランティアセンターの設置に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」のホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ(各種団体等の要望)をマッチングすることで、県民の環境保全活動への参画を促進する。	県	地域課題ニーズとボランティアのマッチングに係る実施状況を踏まえた環境ボランティアセンターの設置の検討		
		ボランティアマッチングの実施件数(累計)		
		5件	10件(15件)	15件(30件)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域環境センター等管理運営等事業費			予算事業名	地域環境センター等管理運営等事業費	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	16,227	18,116	県単等	委託	18,436
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
<p>沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進した。</p>				<p>沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進する。</p>		

活動指標名	ボランティアマッチングの実施 件数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	25件	14件	8件	15件 (30件)	53.3%	大幅遅れ	<p>沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ (各種団体等の要望) をマッチングするため、年間を通して、環境保全活動団体の活動情報等を発信した。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄県地域環境センターのホームページ上で環境保全活動団体の活動情報等を発信したところ、154件のサイト閲覧数があった。閲覧数の5%について、環境保全活動を希望するボランティアと環境保全活動団体をマッチングできたとし、目標値15件に対し実績8件とした。ボランティアに関する情報閲覧数が前年度290件に対し、154件であったため目標には達しなかったが、今後も継続して情報発信を行っていく。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
<p>○ 沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を継続して行うとともに、対象者のニーズに合ったマッチングを展開した。</p>	<p>沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を年間を通して実施し、対象者のニーズに合ったマッチングを展開した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	<p>県民による地域に根差した環境保全活動への参画を促進するため、沖縄県地域環境センターを中核に据えた事業を継続して実施する必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	<p>沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を継続して行うとともに、対象者のニーズに合ったマッチングを展開する。</p>